

## は じ め に



芦別市では、平成11年に「芦別市障害者計画」を策定し、「ノーマライゼーション理念」の実現に向け、社会環境の変化や障がい者ニーズの多様化などに対応しながら、障がい者施策の総合的・計画的推進に努めてまいりました。

この間、急速な情報化社会の進展や少子高齢化の進行など、福祉分野を取り巻く社会情勢が大きく変化する中、障がい者福祉も措置費制度から、平成15年度からの支援費制度導入に続き、平成18年4月施行の「障害者自立支援法」に基づき、障がい種別にかかわらず、サービスの一元的提供により地域で安心して暮らせる社会の実現を目指した施策が推し進められております。

このような状況を踏まえ、本市におきましては「第5次芦別市総合計画」と連動しながら、平成31年度を目標年次とし、障がいのある人が必要とするサービスを利用し、地域社会で自立して暮らすことのできる社会の実現を目指して、「第2期芦別市障がい者計画」を策定致しました。

今後は、地域における障がい者の現状やニーズを的確に把握するとともに、市民の皆様には障がい者福祉への関心と理解をより一層深めていただき、障がいのある人自らの積極的な社会参加と、市民との協働による支えあう地域社会の実現を目標として、本計画を推進してまいります。

本計画の策定にあたり、慎重かつ熱心なご議論、ご提言をいただきました芦別市障がい者計画等推進協議会委員の方々をはじめ、障がい者団体、関係行政機関、関係団体そして、アンケート調査にご協力いただきました市民各位に心から感謝申し上げます。

平成22年 3 月

芦別市長 林 政 志